

2021年度助成事業

# ヤングケアラー支援施策推進のための普及啓発事業報告

一般社団法人 日本ケアラー連盟

本報告書は、公益財団法人 日本財団2021年度助成事業「ヤングケアラー支援施策推進のための普及啓発」事業として2021年9月21日から2023年3月31日の期間に実施した事業の記録です。

2023年3月31日  
一般社団法人 日本ケアラー連盟

# 事業要旨

2023年3月31日作成 文責：古賀久恵（事業担当責任者）

1. 事業名「ヤングケアラー支援施策推進のための普及啓発事業」

2. 事業の目的

本事業はヤングケアラーに対する社会全体の理解が深まり、ヤングケアラーとその家族が孤立せず安心して暮らせる社会となることを目的とし実施した。

3. 事業の内容

ヤングケアラーに関する研修動画を3巻作成し、全国の自治体並びに社会福祉協議会、福祉系NPO等へ告知。120巻を頒布（販売・寄贈）し、全国各地でヤングケアラーについての理解を深めるための研修会等に活用された。また、ヤングケアラー支援に関する基礎的な講座とアドバイザー的な人材を養成するための講座をオンライン（eラーニング）にて提供した。

4. 結果

DVDならびに講座の受講者は全国的な広がりとなり、ヤングケアラーの理解と支援のための普及啓発を促進することにつながった。また、支援者同志の横のつながりを作る機会を提供できた。受講修了生からのアンケートでは約9割から「他の人にすすめた」という高評価を得た。

さらに本事業名称にもなっている「ヤングケアラー支援施策推進のための普及啓発」については、2023年3月末日時点で、ヤングケアラー・ケアラー支援に関する条例を制定した自治体は17自治体となり、本事業での制作物や講座が多くの自治体で活用されたことを鑑みても、各地の条例制定過程に影響を与えたと言っても過言ではなく、一定の成果をあげた。

5. 考察

本事業を通して、ヤングケアラー支援に関しての関心は、地域による温度差があることが示唆された。また、ヤングケアラー支援に関わっている人たちが孤軍奮闘していることも明らかになった。さらにヤングケアラーとその家族が孤立せず安心して暮らせる社会となるために、ヤングだけでなく全世代を加味した検討が望まれる。

6. 今後

今後は、条例を制定する自治体（現在の17自治体）をさらに増やすように、引き続き本事業で作成した教材（研修動画とeラーニング教材）を使いながら啓発活動を行っていききたい。

# 事業要旨（補足）

## 補足

事業を実施して明らかになったこと

### 1 研修のニーズ

事業開始当初に想定していた以上に、自治体職員の参加が多く、ヤングケアラーコーディネーターとしての業務を行っている職員がすでに全国に多数いることもわかった。

今後もヤングケアラーコーディネーターに就任する自治体職員は増加し、それに伴い研修ニーズも増加し続けることが予想される。

### 2 業務内容の明確化の必要性

ヤングケアラーコーディネーターの業務内容が、まだ明確ではなく、地域ごとに内容にもばらつきがあることがわかった。

ヤングケアラーコーディネーターの役割や具体的な業務内容について、明確にする必要がある。

# 目次

- 0 事業概要
- 1 研修動画について
- 2 講座開催準備
- 3 講座開催
- 4 集合研修の記録
- 5 まとめ
- 6 助成表記画像（ポスト・玄関・購入物等）

# 0 事業概要

# 0 事業概要

## 目標

ヤングケアラー支援は新しい社会的課題であるため

- 1 社会全体の理解・認識をできるだけ早急に広める
- 2 全国で活動できる普及・啓発・研修を担える人材を早急に養成する

# 「ヤングケアラー支援施策推進のための普及啓発事業」の内容

## 1: 研修動画の作成

### 【計画】

①2021年12月末までに  
順次作成

②2022年1月～  
広報・販売

### 【状況】

①②共に計画通り遂行

## 2: 人材養成研修の実施

### 【計画】

①2022年5月～8月  
養成研修プログラムの作成

②2022年10月～12月  
インストラクター養成研修の  
実施

### 【状況】

①計画通り遂行  
②オンラインコースを10月から  
開講

## 3: 研修教材の作成

### 【計画】

①2022年4月～7月  
教材の作成

### 【状況】

①計画通り遂行  
オンライン講座用に作成

# 1 研修動画について

# DVD（動画）のニーズ

## 【背景】

- ・全国の自治体から講演依頼が多く寄せられている講師が不足している（申請時も現状も）

## 【主に自治体からの要望】

- ・何度かに分けて研修を実施したいが予算がないので、動画の教材がほしい
- ・地方では会場までくるのに遠い職員もいるため動画で配信したい

# DVD (動画) のPR

ご要望にお応えして研修動画ができました！  
【DVD】ヤングケアラーへの理解と支援のために (1~3巻)

日本ケアラー連盟の理事の出演による研修動画「ヤングケアラーへの理解と支援のために」ができました。ヤングケアラーの基礎知識や現状を理解するための調査データの解説、現状と課題、支援のあり方、事例紹介など、3人の講師が講演の場に応じている内容を新規にスタジオ収録した各々80分間の動画です。是非、研修にお役立てください。

**本DVDの特徴**

- ◆ 講座と同内容
- ◆ 何度でも利用可
- ◆ 受講対象に合わせた内容
- ◆ 特別付録
  - 講義資料 (配布用)
  - 政策パンフレット (本冊 + 補足資料)

**1 ヤングケアラーへの理解と支援のために**  
～自治体職員のみなさまへ～  
収録内容 (60分)

- 1) ヤングケアラーとは
- 2) ヤングケアラー支援の社会的背景
- 3) ヤングケアラーの現状
- 4) ヤングケアラーが抱える問題・困難
- 5) ヤングケアラー支援の課題
- 6) ヤングケアラー支援の事例
- 7) ヤングケアラー支援施策と先進事例

【講師】 一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事 堀越栄子

**2 ヤングケアラーへの理解と支援のために**  
～福祉・教育関係者のみなさまへ～  
収録内容 (60分)

- 1) ヤングケアラーとは
- 2) ヤングケアラー支援の社会的背景
- 3) ヤングケアラーの現状
- 4) ヤングケアラーが抱える問題・困難
- 5) ヤングケアラー支援の課題
- 6) 多機関・専門職の連携による支援
- 7) 多機関・専門職の連携による支援事例

【講師】 一般社団法人日本ケアラー連盟 理事 森田久美子

**3 ヤングケアラーへの理解と支援のために**  
～地域のみなさまへ～  
収録内容 (50分) + 音声 CD (10分)

- 1) ヤングケアラーとは
- 2) ヤングケアラー支援の社会的背景
- 3) ヤングケアラーの現状
- 4) ヤングケアラーが抱える問題・困難
- 5) ヤングケアラー支援の課題
- 6) ヤングケアラーを地域で支えるために

付属 CD : 元ヤングケアラーの語り  
【講師】 一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事 牧野史子

頒布価格 各99,000円(税込) 3本セット220,000円(税込)  
制作・著作 一般社団法人日本ケアラー連盟  
制作協力 一般財団法人高度映像情報センター(AVCC)  
助成 公益財団法人日本財団

お申込み HP専用フォームまたはチラシ裏面申込フォームをメール添付またはファックスにてお願いいたします。  
お申込み ホームページ専用フォーム <https://carersjapan.com/form-dvd>  
お申込み インスタグラム <https://carersjapan.com/trainingvideo>

日本ケアラー連盟  
一般社団法人 日本ケアラー連盟とは  
2010年6月に乳がんケアラーを支援する社会的な組織をつくるため、「ケアラー支援法」の制定や条例(化)を推進して、調査研究・啓発・政策提言・ロビー活動などを行っています。また、ケアラー支援のツールとして、「ケアラー手帳」[政策]パンフレット「ケアラーの仲間」などを発行、普及に努めています。  
IACO国際ケアラー支援組織連盟 International Alliance of Carer Organizations)のメンバー。

ホーム 日本ケアラー連盟とは ケアラー・ヤングケアラーについて知りたい皆様へ ケアラー・ヤングケアラーの皆様へ 連盟著作物(イラスト・資料等)の活用について 連盟発行の報告書・冊子・通信

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

ヤングケアラーへの理解と支援のために  
研修動画

監修：一般社団法人日本ケアラー連盟

0:00 / 2:08

オンライン講座  
オンライン講座についてはこちらから

「DVDヤングケアラーへの理解と支援のために」購入申込フォーム

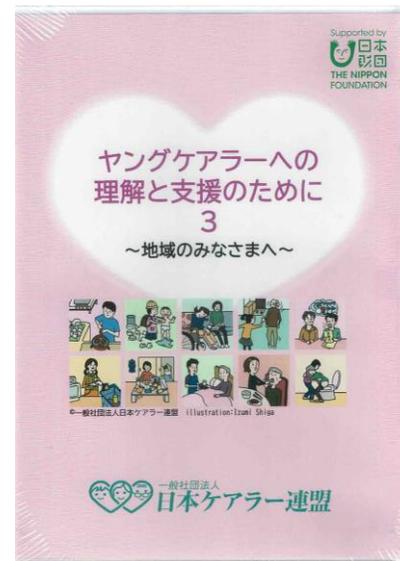
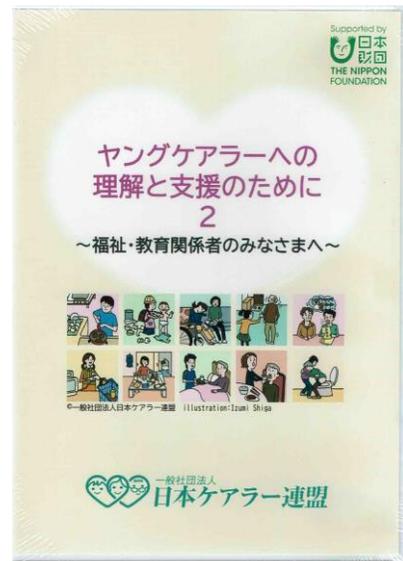
←チラシ 6300枚印刷 ↑ HP内 DVDPR動画

# 研修動画による啓発・普及

Vol.1  
自治体向け

Vol.2 福祉・教  
育関係者向け

Vol.3  
一般市民向け



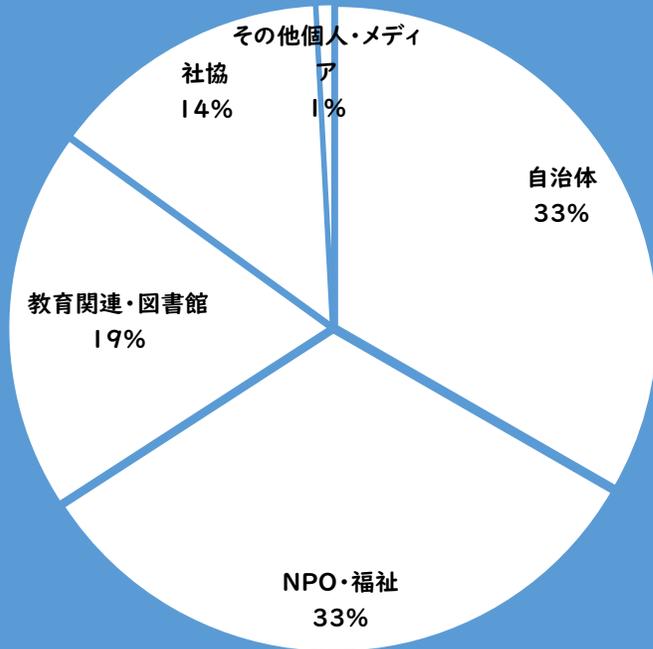
『ヤングケアラーへの  
理解と支援のために』  
DVD3本

- ・ 2021年12月収録
- ・ 2022年1月完成
- ・ 2月より販売・頒布開始

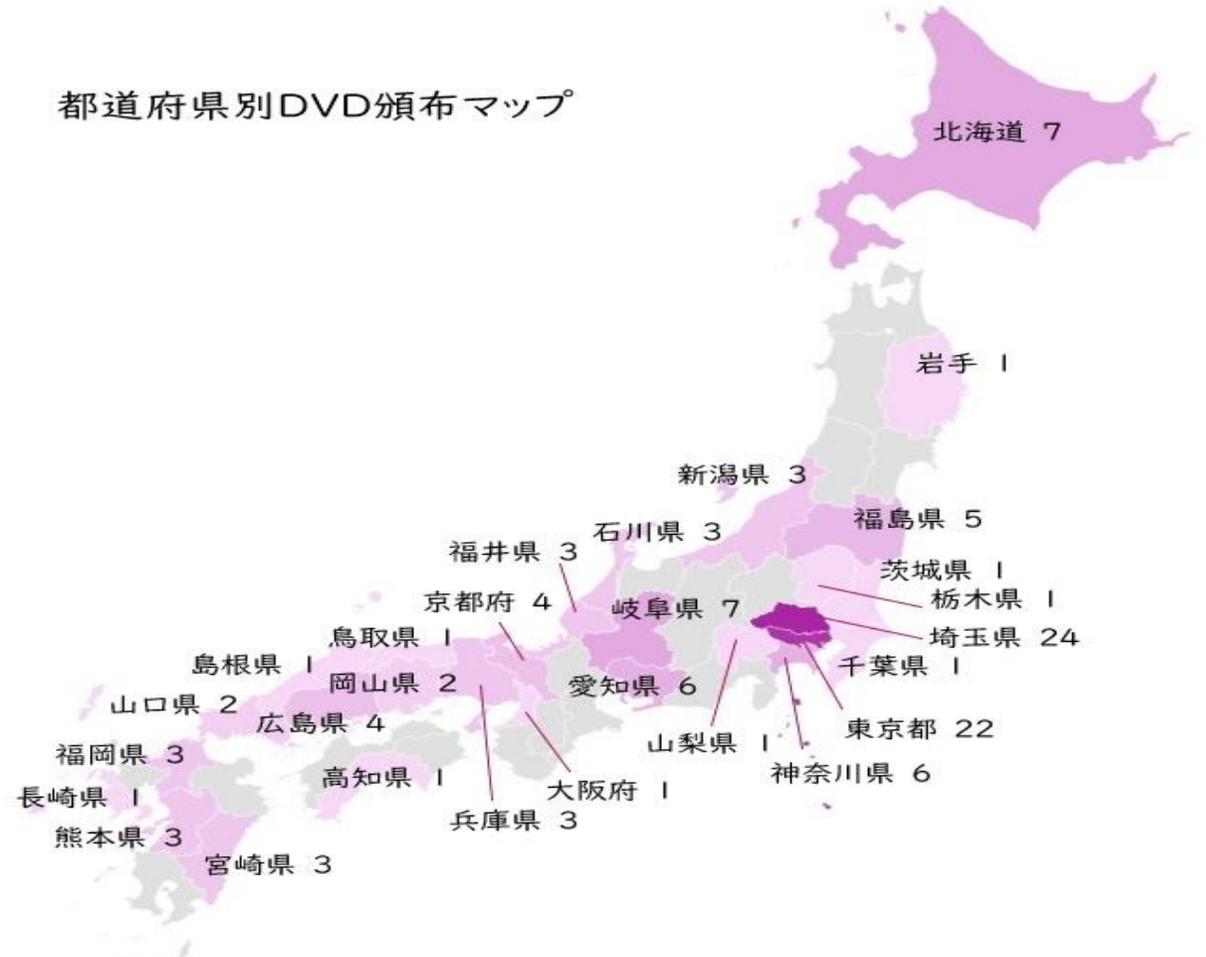
# 普及（頒布）状況

27都道府県  
120本（頒布）

頒布先種別



都道府県別DVD頒布マップ



# DVD映像自治体での活用例

## 岐阜県のケース

DVD研修映像を活用して研修会を開催した例：  
受講者数：642名（受講期間 2カ月）

### 【主な感想】

- ・「ケアを担っていることを否定しない」ことが重要と学んだ（福祉関係者）
- ・様々な先生方と情報を共有しながら、対応していきたい（教職員）
- ・本来守られるべき「子どもの権利」が分かった（教職員）
- ・関係機関へ繋げていくことは出来ると思った（市町村職員）
- ・その存在が分かったとしても、どこまで介入できるかとても難しいと感じた（教職員）
- ・18歳以上の若者ケアラーという言葉もあることを知った（福祉関係者）

### 【自治体担当者からの感想】

県のヤングケアラー支援のための基礎となる、たいへん有意義な研修となった

清流の国ぎふ YouTube限定公開

ヤングケアラー研修会

「ヤングケアラーへの理解と支援のために」

福祉・教育・医療等幅広い関係者がヤングケアラーについて学び、支援のための基本的な知識を共有することにより、ヤングケアラーに対する理解度及び支援技術向上を促します。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

① 24時間体制で働く親戚に代わり、買い物・食事・洗濯などのサポートをしている。  
② 夜間に代わり、お風呂やトイレのサポートをしている。  
③ 障がいや病気のあるお父さんやお母さんの世話を焼いている。  
④ 家族以外で生活しているお父さんやお母さんの世話を焼いている。  
⑤ 障がいや病気のあるお父さんやお母さんの世話を焼いている。  
⑥ 障がいや病気のあるお父さんやお母さんの世話を焼いている。

研修内容 (一社)日本ケアラー連盟DVD「ヤングケアラーへの理解と支援のために」より  
①自治体職員向け ②福祉・教育関係者向け ③地域の向け(各60分程度)

公開期間 令和4年11月1日(火) 10:00から  
令和4年12月28日(水) 17:00まで

主催 岐阜県 参加費 無料 どなたでも参加いただけます。

申込み先 岐阜県福祉課 申込み先 岐阜県福祉課

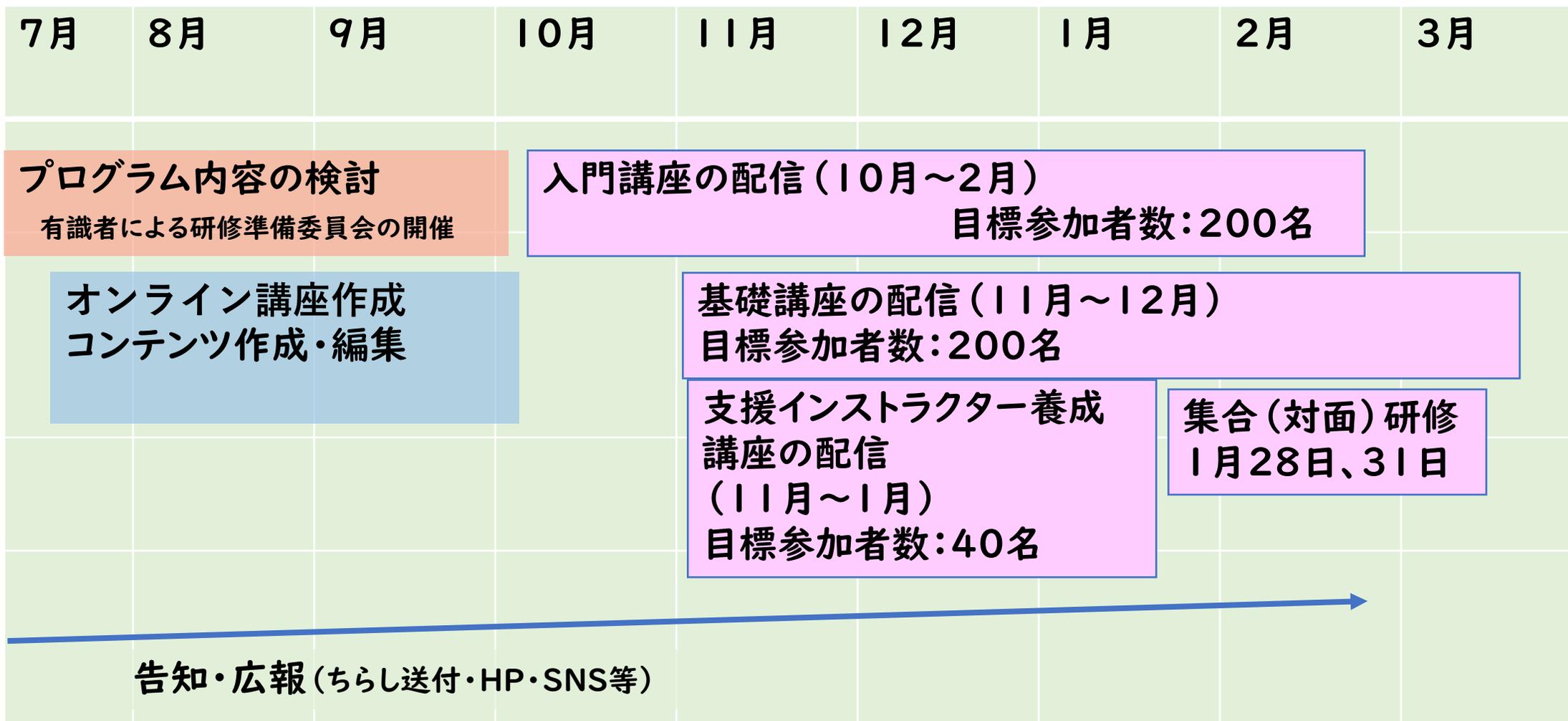
# 未普及（頒布）状況

未頒布 20県

地域	県名			
北海道・東北	青森県	宮城県	秋田県	山形県
関東	群馬県			
中部	富山県	長野県	静岡県	愛知県
関西	三重県	滋賀県	奈良県	和歌山県
中国				
四国	徳島県	香川県	愛媛県	
九州・沖縄	佐賀県	大分県	鹿児島県	沖縄県

## 2 講座開催準備

# 「ヤングケアラーを理解し支援するための オンライン講座 スケジュール」



# 講座準備委員会の開催

場所: コロナ感染防止のため、全てオンラインにて開催

- ・ 第0回 2022年5月2日
  - ・ 事前ヒアリング 厚生労働省2名+委員3名+事務局1名で開催
- ・ 第1回 2022年4月9日 委員3名+事務局2名で開催
- ・ 第2回 2022年6月11日 委員6名+事務局1名で開催
- ・ 第3回 2022年6月30日 委員6名+事務局3名で開催
- ・ 第4回 2022年8月17日 委員5名+事務局1名
- ・ 第5回 2022年10月27日 委員5名+事務局1名で開催
- ・ 以降の開催は集合研修の内容検討委員会
- ・ 第6回 2022年11月17日 委員4名+事務局1名
- ・ 第7回 2023年1月6日 委員4名+事務局1名で開催

研修準備委員会メンバー（50音順・敬称略）

- ・ 田中 悠美子（立教大学助教）
- ・ 中嶋 圭子（社会福祉士）
- ・ 牧野史子（NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン理事長）
- ・ 堀越栄子（日本女子大学名誉教授）
- ・ 松澤 明美（北海道大学大学院 保健科学研究所 准教授）
- ・ 森田 久美子（立正大学教授）
- ・ 滝島真優（成蹊大学（特別研究員）  
集合研修の部担当（第6回以降参加）

# 教材作成

2022年3月18日 中野ケアラーテラス 委員2名+事務局

・コロナ禍での開催を踏まえ運営方法の検討

・ 2022年3月31日 オンライン

出版社の編集者1名+委員2名+事務局1名

研修用テキストの仕様について(現在の出版事情も踏まえ)

・ 2022年7月～11月第2週 毎週木曜日 オンライン

・ 「オンライン講座教材作成定例ミーティング」を開催

・ 教材作成スタッフ4名

## 教材作成スタッフ

(50音順・敬称 略)

・ 野手香織 (文学修士、編集者・ライター・学術書・専門書を中心にケアラー関係の書籍等の経験豊富)

・ 米村浩明 (IT会社経営、オンライン講座立ち上げ等経験豊富)

・ 古賀久恵 (福祉マネジメント修士、オンラインコースの問題・解説作成、学習ゲーム教材制作等経験豊富)

・ 濱田弥 (工学修士、システムエンジニア)

# 3 講座開催

# 講座の内容と告知

## 講座募集の方法

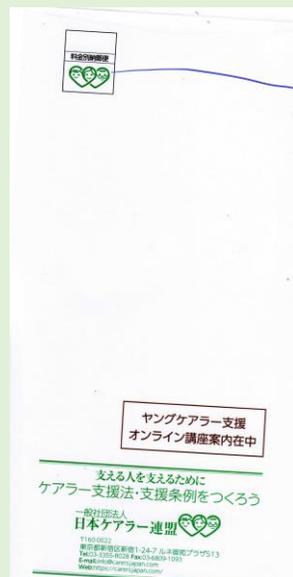
- ・チラシの送付  
全国自治体(若者・子ども支援担当部宛て)
- ・社協・福祉系NPOなど
- ・HP、facebook等SNS告知

左) 専用封筒の画像

中) 講座募集ちらしの表紙画像

右) 講座申込用 PR(LPページ)

<https://online.carersjapan.com/>



日本ケアラー連盟主催  
ヤングケアラーを  
理解し支援するための  
eラーニング  
オンライン講座

2022年10月  
開講

支援研修の  
インストラクターに  
なりたい!

オンライン  
+  
集合研修  
(対面)

ヤングケアラーを  
サポートしたいから、  
ヤングケアラーを  
もっと知りたい!

オンライン  
のみ

✓オンデマンド配信のため  
どなたでもご自宅から受講できます

✓期間中は何度でも受講が可能

✓2022年10月より開講

一般社団法人  
日本ケアラー連盟  
助成 公益財団法人 日本財団

2023/02/21 0:06 ヤングケアラーを理解し支援するためのオンライン講座

一般社団法人 日本ケアラー連盟 主催

ヤングケアラーを  
理解し支援するための  
オンライン講座

✓オンデマンド配信※のため、どなたでもご自宅から受講できます。  
✓期間中は何度でも視聴できます。  
※C研修インストラクター養成コースのみ、集合研修への参加が必須となります。

3つのコースから選べます

※定員になり次第締め切ります。

<https://online.carersjapan.com/> 1/36

専用封筒の表面に「ヤングケアラー支援」と表記したことで、他部に届いた案内も担当者へ転送され、受講につながった。

# 講座募集のチラシ(リーフレット)



一般社団法人  
日本ケアラー連盟

3つ折りにして配布

## ヤングケアラーとその支援を学ぶ

一般社団法人日本ケアラー連盟は「ヤングケアラーを支援するためにヤングケアラーについて学びたい」「講師をさがしている」という声が多く寄せられています。ご要望にお応えし2022年10月より誰でも学べる講座を開催いたします。

### A 入門コース(10月開講)

ヤングケアラーについての理解と支援について学びたい方向けの入門コースです。

スライドとナレーションによる学習です。

- 主な学習内容
  - ヤングケアラーの概要・ヤングケアラーの理解・ヤングケアラーの課題、ヤングケアラーを支援するために知っておきたいことなど。
  - ヤングケアラーを知るための参考図書、映画などの紹介。

### B 基礎コース(11月開講)

ヤングケアラーの理解と支援についての知識を持ったうえで、ヤングケアラーへの支援をするための基礎力を身につけることを目標としたコースです。

※日本ケアラー連盟監修DVD「ヤングケアラーの理解と支援のために」の動画も使用します。

- 主な学習内容
  - ヤングケアラーの実態・ヤングケアラー支援の方法・ヤングケアラー支援の事例など
  - 研修プログラム作成に必要な知識も学べます。

### C 研修インストラクター養成コース(11月開講)

ヤングケアラーを支援する研修のインストラクターを目指すコースです。

- 主な学習内容
    - オンライン学習の内容はBコースと同じ内容です。
    - 演習は対面研修で行います。
- 演習では企画を提案する手法を身につけ、多様な場面で活躍するための人材を高めます。



## 一般社団法人 日本ケアラー連盟とは

2010年6月に発足。ケアラーを支える社会的仕組みを作るため、「ケアラー支援法」の制定や条例化を目指し、政策研究・啓発・政策提言・ロビー活動などを行っている。また、ケアラー支援のツールとして、「ケアラー手帳」その他に「政策パンフレット」、研修用DVD「ヤングケアラーへの理解と支援のために」を制作・販売している。

I A C O (国際ケアラー支援組織連盟: International Alliance of Carer Organizations)のメンバー。

## 本講座(eラーニング)の特徴

- 生配信ではないので、いつでも好きな時間に少しずつ学べます。(オンクラスというeラーニングのシステムを利用)
- 1つのカテゴリーを学ぶと次に進むことができ、適度なテスト(クイズ)で学習したことを確認できます。



## お申し込み&お問い合わせ

【ホームページ内の講座専用ページ】  
▶ <https://carersjapan.com/e-learning-yc/>  
【講座専用問合せメール】  
▶ [e-learning-yc@carersjapan.com](mailto:e-learning-yc@carersjapan.com)

## 一般社団法人 日本ケアラー連盟

TEL: 03-3355-8028 (月曜日13:00~17:00)  
住所: 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7 ルネ創発ブザ513号室  
H.P: <https://carersjapan.com/>

日本ケアラー連盟主催

## ヤングケアラーを理解し支援するための eラーニング オンライン講座

2022年10月開講



- ✓ オンデマンド配信のため  
どなたでもご自宅から受講できます
- ✓ 期間中は何度でも視聴が可能
- ✓ 2022年10月より開講



一般社団法人 日本ケアラー連盟  
略称: 公益社団法人 日本ケア

## \*2022年10月1日より申込開始

### A 入門コース (オンライン受講のみ)

**POINT**  
ヤングケアラーについての理解と支援についての知識を学ぶ入門コースです。  
一般の方に向けたわかりやすい内容です。

- 受講(配信)期間  
2022年10月1日~2023年2月28日の間
- オンライン学習時間目安: 60分
- 受講料: 2,000円
- 受講に向いている方
  - ヤングケアラーについて学んでみたい方
  - 学生の方(探究学習やレポート等の参考に)
- 募集人数: 300人

## \*2022年11月1日より申込開始

### B 基礎コース (オンライン受講のみ)

**POINT**  
ヤングケアラーの基礎知識や現状を理解するための調査データの解説、支援のあり方、事例の紹介など、5人の講師の講演を通して学べるコースです。

- 受講(配信)期間  
2022年11月1日~2023年2月28日の間
- オンライン学習時間目安: 180分
- 受講料: 8,000円
- 受講に向いている方
  - 自治体職員、法人(NPO含む)関係者や職員、研究・教育関係者、医療・福祉の専門職、民生・児童委員、地域の支援者の方 他
- 募集人数: 260人

## \*2022年11月1日より申込開始 ※集合研修は(1月28日、31日いずれかの)東京会場での対面研修です

### C 研修インストラクター養成コース(オンライン受講+集合研修)

**POINT**  
ヤングケアラーの理解と支援の必要性を広める人材となっていくことを目標としたコースです。

- 受講(配信)期間  
2022年11月1日~2023年1月20日の間
- 集合研修(東京会場)  
1月28日(土)、1月31日(火)のいずれか
- オンライン学習時間目安 180分+集合研修6時間
- 受講料: 18,000円(Bコース受講料+集合(対面)研修費)
- 受講に向いている方
  - ヤングケアラーコーディネーターまたは、今後ヤングケアラーに関する研修講師を担う予定のある方、研修インストラクターを志望する方

※新型コロナウイルス感染症等の拡大防止のため、状況により、集合(対面)研修の形態を変更する可能性があります。

■ 募集人数: 40人

- 受講条件
  - 対人援助や相談支援の知識がある方
  - パワーポイントが使える方
- インストラクターになるには
  - 期間中にオンライン学習をすべて受講し、東京会場で開催する集合研修に参加し、所定の学習をすべて修了すること
- 特徴
  - 研修インストラクターに必要となるヤングケアラーに関する専門知識を学べます
  - 集合研修の演習を通して企画立案の方法や効果的なプレゼンテーションなど講師に必要なスキルを学べます

## A、Bコースの特徴

- 両コース共オンライン学習のため好きな時にいつでも始められます
- 全国どこからでも受講できます
- すきま時間に少しずつ学ぶこともできます
- 修了後、希望者には受講証明書を発行します



- ✓ 全てのコースは、専用サイトからのお申し込みのみです。
- ✓ 申込日が各コースの開始日になります。
- ✓ 定員になり次第締め切ります。
- ✓ 詳細はHP内の専用サイトをご確認ください。



## Cコース修了者の特典

- 特典① 修了証を発行
- 特典② 日本ケアラー連盟監修研修DVD「ヤングケアラーの理解と支援のために」(1~3)の内いずれか1巻を贈呈。
- 特典③ 日本ケアラー連盟の公式サイトにて「インストラクター養成コース修了者」として名前と活動地を掲載いたします(希望者のみ)
- 特典④①~③は、演習(集合研修)を修了した方のみとなります。



↑ チラシ(表)

↑ チラシ(裏)

# 3つのコースの目標・学習方法

## 入門コース

ヤングケアラーについての理解と支援についての知識を学ぶ

対象：一般の方

※多くの方に学んでいただくことを目標にしたコース

学習方法：スライドとナレーション

## 基礎コース

ヤングケアラーの理解と支援についての知識を持ったうえで、ヤングケアラーへの支援をするための基礎力を身に着ける

対象：自治体、法人（NPO含む）関係者や職員、研究・教育関係者、医療・福祉の専門職、民生・児童委員、地域の支援者の方他

学習方法：動画

## 支援インストラクター養成コース

ヤングケアラーを支援する研修のインストラクターを養成する

対象：対人援助や相談支援の知識がある方

学習方法：動画+対面（集合）研修

# オンライン講座受講者数

## 各コースの受講者数

コース名	受講生数(人)
入門コース	76
基礎コース	128
研修インストラクター養成コース	40
受講者合計	244

### 入門コース

10月1日より募集受付を開始。

### 基礎コース、研修インストラクター養成コース

11月1日より募集受付を開始。

研修インストラクター養成コースは、開始受付から数時間で定員に達した。

# 講座受講者の活動地

全国各地から受講  
修了生は全国各地で活動

オンライン形式のため  
どこからでも受講可能だったことが  
全国的な広がりへつながった

※受講生がひとりもいなかった地域もあった

基礎コース・養成コース修了者  
活動地マップ



# 受講生のいなかった地域

地域	県名				
北海道・東北	秋田県				
関東					
中部	富山県	福井県	静岡県	愛知県	
関西	三重県	滋賀県	京都府	兵庫県	和歌山県
中国					
四国	徳島県	香川県			
九州・沖縄					

受講生がなかった地域が中部地域と関西地域に集中している。地域に偏りがみられる。

# 講座アンケート結果①

## A 入門コース

受講生76人 アンケート回答数 59 アンケート回答率 78%

- ・所属：医療・保健・福祉関係37%、自治体22%、その他20%、NPO等15%
- ・講座開催を何で知ったか

**その他35%、連盟のSNS30%、連盟からのDM25%**

その他は、日本財団オンライン報告会にて告知したことの効果と考える

- ・利用した機器 7割PC
- ・受講者の年代 40代39%、50代24%、60代14%
- ・講座内容 約7割(40人)が「大変参考になった・参考になった」と回答
- ・価格 約7割(41人)が「ちょうど良い」と回答

**約9割(52人)が「ほかの人にすすめたい」と回答**

## 感想 意見の多かった回答 ベスト5

- 1 基礎の勉強になった(19件)
- 2 わかりやすかった(12件)
- 3 より学びを深めたい(8件)
- 4 今後役に立てていきたい(7件)
- 5 各章が短く受講しやすかった(7件)

統計的な数字を知ることができた。  
確認テストで頭の整理が出来た。  
多くの人に受講してほしい。  
説明の仕方の参考になった

# 講座アンケート結果②

## B 基礎コース

受講生128人 アンケート回答数 82 アンケート回答率 64%

- ・所属:自治体33%、医療・福祉24%、自治体から委託を受けている組織14%
- ・講座開催を何で知ったか  
連盟のSNS34%、その他34%、連盟からのDM25%
- ・利用した機器 7割PC
- ・受講者の年代 40代41%、50代29%、60代15%
- ・講座内容 99%(81人)が「大変参考になった・参考になった」と回答
- ・価格 約6割(52人)が「ちょうど良い」と回答
- 約8割(68人)が「ほかの人にすすめたい」と回答

## 感想 意見の多かった回答 ベスト5

- 1 わかりやすい講座だった(19件)
- 2 基礎の勉強になった。包括的に学べた(17件)
- 3 研修を実施する際の具体的な知識や進め方などを理解できた(12件)
- 4 具体的な事例や支援アプローチの仕方を知ることが出来た(11件)
- 5 ヤングケアラーに対する知識を深められた(6件)

業務に活かせる内容だった、何度でも見られるので理解が深まった。テストがあることで確認ができてよかった。

# 講座アンケート結果③

## C 研修インストラクター養成コース

受講生 40人 アンケート回答数 39 アンケート回答率 98%

- ・所属：自治体36%、医療・福祉23%、こども若者支援活動団体20%
- ・講座開催を何で知ったか  
連盟からのDM33%、知人などから30%、連盟SNS28%
- ・利用した機器 8.5割PC
- ・受講者の年代 50代33%、40代18%、30代18%、60代15%
- ・講座内容 約95% (37人)が「大変参考になった・参考になった」と回答
- ・価格 約9.5割 (37人)が「ちょうど良い」と回答
- 約9割 (35人)が「ほかの人にすすめたい」と回答

## 感想 意見の多かった回答 ベスト5

- 1 基礎的な知識、支援の方法、事例を知ることができた (8件)
- 2 実践的な内容で今後の支援の参考になった (7件)
- 3 わかりやすい講座だった (5件)
- 4 確認テスト、感想の入力で理解の確認ができた (4件)
- 5 支援の具体的なイメージを持つことができた (4件)

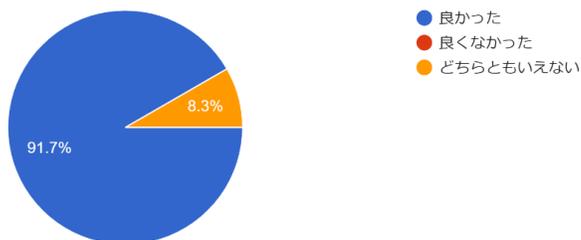
PDF資料がダウンロードできて良かった。集合研修でさらに学びたい。自身が講演を行うにあたり、参考になった。

# 講座アンケート結果④

## C 研修インストラクター養成コース 集合研修事後アンケートより

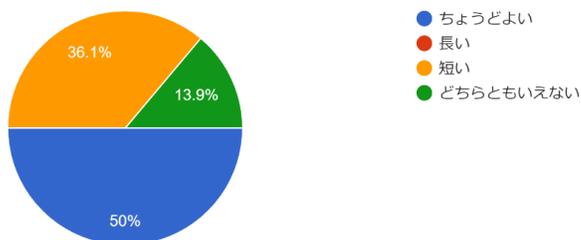
2-1. 研修の内容・プログラムについて、あてはまるもの1つにチェックをお願いします。

36件の回答



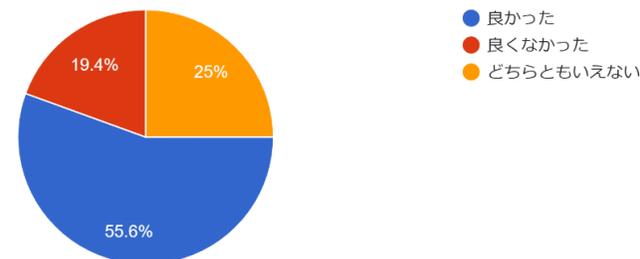
3-1. 研修の時間について、あてはまるもの1つにチェックをお願いします。

36件の回答



4-1. 集合研修の運営や環境について、あてはまるもの1つにチェックをお願いします。

36件の回答



### 主な感想

- ・様々な人に会うことができ、意見を聞いた(13件)
- ・現状の問題を解決しようとしている人がいることに元気をもらった。意欲が高まった(7件)
- ・人脈が得られた(4件)
- ・講師活動のポイントを理解できた(3件)
- ・今後の活動の参考になった(3件)



一般社団法人

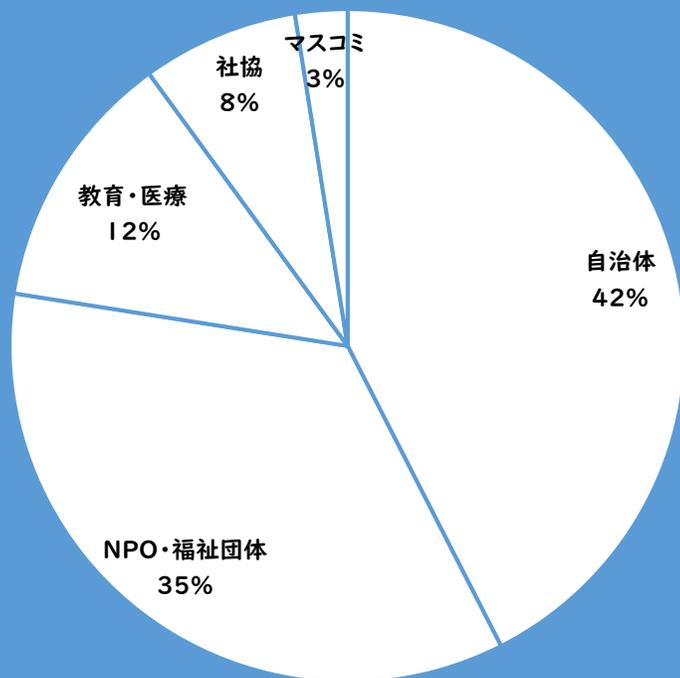
日本ケアラー連盟

# 集合研修修了者の分布

21都道府県  
40名

集合研修参加者マップ

集合研修参加者 所属



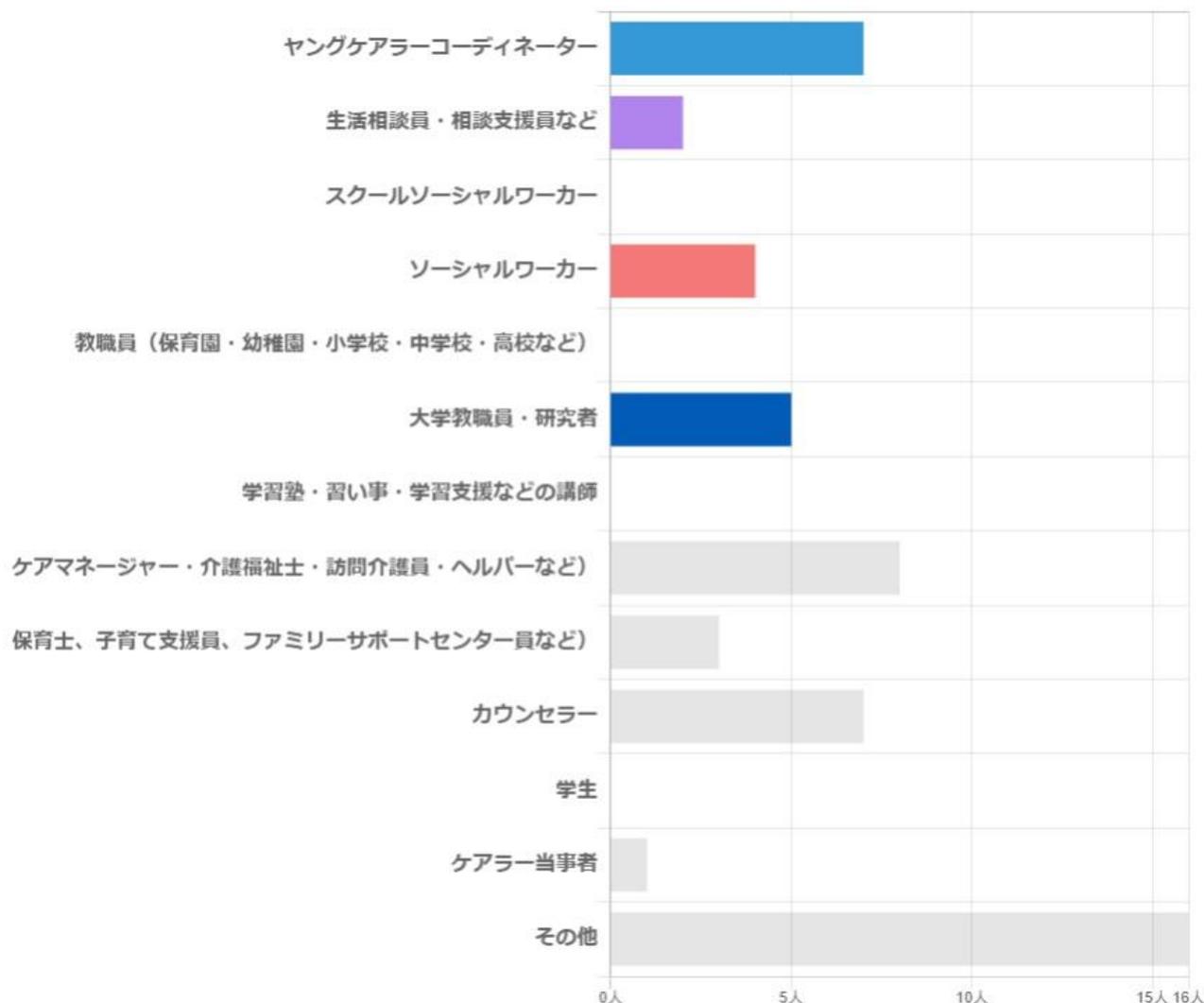
## 4 集合研修の記録

# 参加者の職種



一般社団法人

日本ケアラー連盟



## 【集合研修参加者の職種】

参加者40人中  
7名がヤングケアラーコーディネーター、8名がケアマネージャーなど福祉職、7名がカウンセラーなど多岐にわたる職種が集まった

教職員やスクールカウンセラー、学習支援など小・中・高の学校現場からの参加はなかった

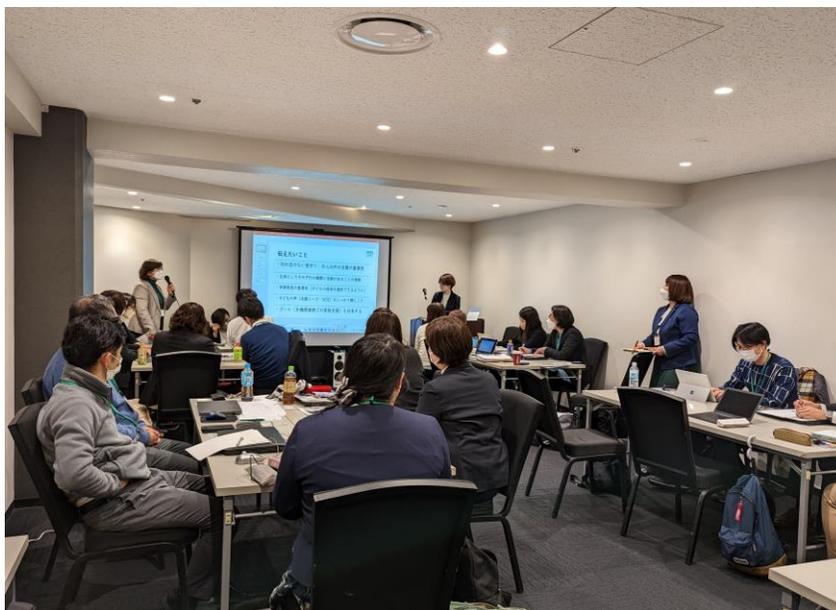


一般社団法人  
日本ケアラー連盟

2023年  
1月28日、  
31日

TKP東京  
IIE

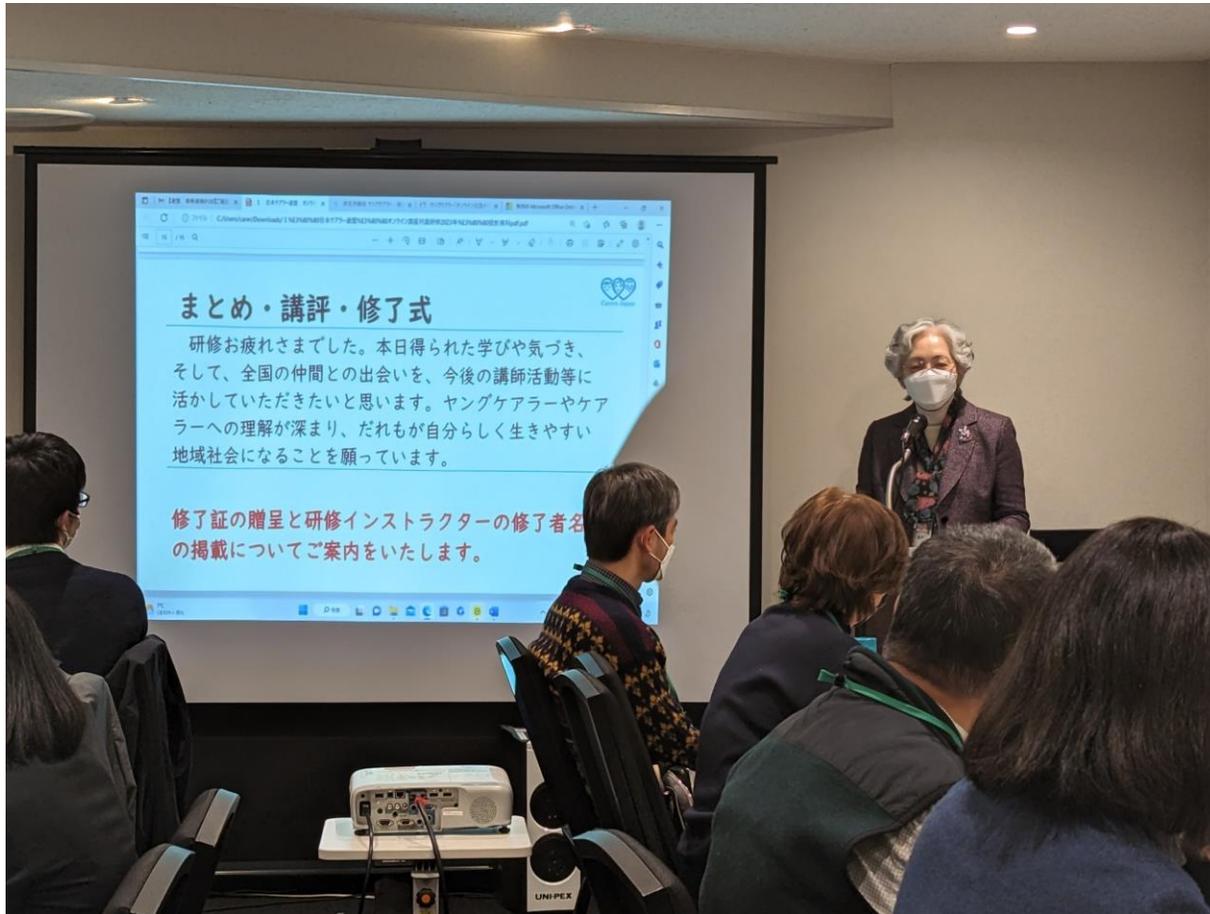
参加者  
各日20名





一般社団法人

日本ケアラー連盟



### まとめ・講評・修了式

研修お疲れさまでした。本日得られた学びや気づき、そして、全国の仲間との出会いを、今後の講師活動等に活かしていただきたいと思います。ヤングケアラーやケアラーへの理解が深まり、だれもが自分らしく生きやすい地域社会になることを願っています。

修了証の贈呈と研修インストラクターの修了者名の掲載についてご案内をいたします。

修了証書のサンプル→

修了証

〇〇 〇〇 様

あなたは、一般社団法人日本ケアラー連盟主催「ヤングケアラーを理解し支援するためのオンライン講座」研修インストラクター養成コースの研修課程を修了したことを証明します。

2023年1月31日

一般社団法人  
日本ケアラー連盟

代表理事 堀越栄子

代表理事 牧野史子



# 5 まとめ

# 講座アンケート結果より

## 全コースの結果集計

受講生244人 アンケート回答数 180 アンケート回答率 74%

## 講座開催を何で知ったか

連盟からのDM、連盟SNS,その他

利用した機器 76%PC

受講者の年代 50代約4割、40代約2割、60代約2割

受講生の所属 約4割が自治体または委託を受けている団体

講座内容 約7割(40人)が「大変参考になった・参考になった」と回答

価格 約8割が「ちょうど良い」と回答

約9割が「ほかの人にすすめたい」と回答

## 【3コースに共通する受講の特徴】

受講に利用した機器:

どこでも受講できる講座のため

受講場所に左右されないスマホやタブレットでの受講生が多いことを想定していたが、**7割強がPCでの受講**であった。

受講生の年齢層は40代から60代が多く、10代、20代、30代の若い世代の受講生が少なかった。

受講生は、全国各地から、約4割は自治体職員または自治体から委託を受けている団体職員であった

講座内容の満足度は高く、約9割が「ほかの人にすすめたい」と回答している。

# 考察 地域性

## DVD未配布と講座受講生の未参加地域

地域	県名		
北海道・東北	秋田県		
関東			
中部	富山県	静岡県	愛知県
関西	三重県	滋賀県	和歌山県
中国			
四国	徳島県	香川県	
九州・沖縄			

### 【地域による温度差】

DVD未配布と講座受講生の未参加地域を総合すると、中部、関西、四国地域からの購入と参加がなく、地域による「ヤングケアラー支援」への関心に温度差があることを示唆する結果が得られた

# 考察 年齢層

## オンライン講座受講者年齢層（若い世代）

	10代	20代	30代
入門コース	0%	2%	12%
基礎コース	0%	2%	10%
養成コース	0%	9%	21%
合計	0%	6%	13%

【若い世代が少ない】

潜在ニーズはあるものの若い世代へ情報が届いていなかったことが考えられる。

SNSでの告知を活用したが、発信先やPRの方法の再検討が必要である。

# 実施したことでわかったこと



## 【DVD頒布・オンライン研修の実施を通して】

- ・ヤングケアラーの啓発を目的に全国に告知をしたが、地域による温度差があることが明らかになった。
- ・どこでも受講できる講座のため  
受講場所に左右されないスマホやタブレットでの受講生が多いことを想定していたが、7割強がPCでの受講であった

## 【対面（集合）研修を通して】

- ・ヤングケアラー支援に関わる担当に任命されたものの、知識や手法、情報などを得る機会がなく、孤軍奮闘を続けている人が多くいることがわかった。
- ・立場の違う人たちが集まったことで、様々な視点での意見交換、学びを提供できた。
- ・対面での研修は、横のつながりを作る場の提供につながった。

# 新たな課題

## 【明らかになったこと】

- ・ 事業開始当初に想定していた以上に、自治体職員の参加が多く、ヤングケアラーコーディネーターとしての業務を行っている職員がすでに全国に多数いること。
- ・ ヤングケアラーコーディネーターの業務がまだ明確ではなく、地域ごとに内容にもばらつきがあること
- ・ 修了生の9割が修了者同志の交流や情報交換の場、フォローアップ研修の開催を望んでいること

## （参加者の声）

- ・ ヤングケアラーへの支援を行っている担当者向け研修をの開催してほしい
- ・ 他機関・多職種と情報交流したい
- ・ 実際の支援の現場の事例の共有や支援方法の検討などを様々な立場の人が一同に会した研修を開催してほしい

# 新たな課題

## 【ニーズ】

- ・ 今後もコーディネーターに就任する自治体職員は増加し、それに伴い研修ニーズも増加し続けると予想される。
- ・ ヤングケアラーコーディネーターの役割や具体的な職務についての明確化する必要がある。

・

## 【今後の課題】

- ◆ 地域差の補完
- ◆ 情報交換の場の提供
- ◆ 業務内容（役割）の明確化

## 【今後の取り組み（予定）】

- ◆ 啓発と人材育成の継続
- ・ 若い年齢層へのアプローチ
- ・ フォローアップ講座の開催

## 6 助成表記画像（ポスト・玄関・購入物等）



一般社団法人

日本ケアラー連盟



2022年4月末までの事務所 扉とポスト



介護支援団体共同事務所

# ウェルネス新宿

所属団体一覧



認定特定非営利活動法人

市民福祉団体全国協議会（市民協）



一般社団法人

日本ケアラー連盟



特定非営利活動法人

介護者支援ネットワークセンター・アラジン



全国介護者支援団体連合会



一般社団法人

# 日本ケアラー連盟

## 2022年5月より 新事務所扉横の表示

※ポストは小さい（薄い）ため  
表示は部屋番号のみ



# 一般社団法人 日本ケアラー連盟



↑保存書類

←助成ロゴの掲示 ホームページ(Top page)

## 2021年度日本財団助成事業

### 「ヤングケアラー支援施策推進のための普及啓発事業」 事業報告書

---

発行：一般社団法人日本ケアラー連盟

発行日：2023年3月31日

構成・執筆：古賀久恵

記録：宮本千尋

図表・データ集計：中嶋幸代

校正・アンケート集計：西川梨香

©2023日本ケアラー連盟